

2025/4/21 (月)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 5 章 13 節 (新約聖書 6 頁)

あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられようか。もはや、塩としての力を失い、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。

### 塩気

地の塩、地とはこの世の中、世界です。塩は人間の体液に約 1 % 溶け込んで重要な役割をしています。これからの季節、汗を流すと水分と共に塩分も失われて熱中症になることはご存じの通りです。だから「あなたがたは地の塩である」とは、あなたがたはこの世の中、世界で欠かせない重要な存在となるのです。

さてそれはどんな存在になるのでしょうか。お金持ちでしょうか。憧れの存在でしょうか。優しいパートナーと幸せになることでしょうか。それともよく正しい人のことを塩のようにしょっぱい存在、苦い存在にたとえられます。ですから地の塩とは真面目で、厳しい人になることでしょうか。

でも「あなたがたは地の塩である」の後に、「塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられようか」とありました。塩に塩気がなくなるというのはどんな状態でしょうか。例えば日本酒は腐るとお酢になります、大豆は腐ると納豆になります。しかし塩は腐りません。ただ放っておくと固い結晶になります。

つまり塩気がなくなるとは固まって溶けないことです。そして固まった塩は自分で塩味を取り戻せず、役に立たなくなります。

確かにイエスは十字架で殺されました。でもそれは地の塩として溶けこんだという意味ではないでしょうか。なぜならその後、復活の信仰が生まれたのは塩気がこの世に残り広がっていったことでわかります。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは独り子をお与えになったほどに、世を愛してくださいました。しかしわたしたちは争いが絶えず、自ら生きることの困難な世界にいます。どうか互いに地の塩として溶けて、赦し合い、共に平和に過ごさせてください。どうか今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちにありますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン